



令和7年9月

No.158

農業改良普及課だより

愛知県豊田加茂農林水産事務所農業改良普及課

〒471-8566 豊田市元城町4-45（豊田加茂総合庁舎内）

TEL 0565-32-7509

FAX 0565-35-0416

Eメールアドレス toyotakamo-fukyu@pref.aichi.lg.jp

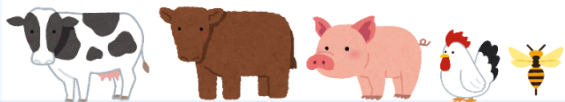
豊田市畜産振興会が設立されました

8月19日に豊田市畜産振興会の設立総会が豊田市役所で開催され、畜産業の経営者8名が出席しました。設立目的は、牛、豚、鶏、蜜蜂と様々な種類の家畜を飼養している経営者が、畜種を超えて集うことで、食の安全・安心を守り、次代を担う子ども達のため、畜産業の理解醸成や振興を図っていくことです。

出席者全員が設立の趣旨に賛同し、畜産振興会に加入しました。都合がつかず出席できなかった経営者もあり、以降も会員数の増加が見込まれます。

今年度の活動としては、9月13日（土）及び14日（日）に開催される「とよた産業フェスタ」に出店します。キッチンカーを用意し、会員の畜産物の販売を予定しています。

農業改良普及課は、今後も本会の活動に参加し、畜産情勢や補助事業の情報提供や、取組内容への提案、新たな技術の紹介等を通じ、経営者への支援を行っていきます。



豊田市畜産振興会の設立総会の様子

新規就農説明会を開催しました

農業改良普及課は、令和7年6月21日、新規就農説明会を豊田市福祉センターで開催し、定員を超える就農希望者21名が出席しました。この説明会は市、農協、研修機関及び農業大学の協力を得て開催し、関係機関・団体から就農に当たっての心構え、支援制度、農地制度の説明、研修制度の紹介を行いました。また、水田作と野菜（施設・露地）で就農した2名が先輩就農者として事例発表を行いました。先輩就農者からは、自然や農業が好きなだけでは務まらないこと、就農当初は休みなく働いて頑張ったこと、技術習得だけでなく、人とのつながりが大切である等助言があり、閉会後も出席者から多くの質問を受けるほど好評でした。



満席の説明会の様子

集落が自主的に鳥獣被害対策を実施

豊田市の梨野集落では、シカ等の侵入防止のため集落全体を囲むように柵が設置され、柵の点検や罠の設置などの対策が活発に行われています。普及課は柵の開口部にカメラを設置して鳥獣の侵入状況を調査してきました。

令和7年度には住民自らシカの侵入状況を調査する体制が強化され、6月の寄合では住民が自ら作成した資料をグラフや動画を交えて発表し、集まった住民10名ほどで活発な意見交換が行われました。

普及課は引き続き「寄せない」「入れない」「捕まえる」に沿った集落の取組を支援していきます。



寄合で発表する住民

命を最優先に！熱中症対策を万全に

今年度は愛知県でも連日40℃に迫る猛暑となり、今後も厳しい残暑が予想されています。5月1日から7月31日までに熱中症で搬送された人は全国で36,727人にのぼり、昨年同時期より1万人以上増加しました。

熱中症は誰の身にも起きます。「自分は大丈夫」とは思わず、症状が出る前から水分補給をしましょう。また、めまいや集中力低下により重大な農作業事故のリスクが上昇します。命を最優先にこまめな休憩を心掛け、帽子や空調服等の熱中症対策アイテムを活用しましょう。



熱中症注意喚起ステッカー

広域調査研究の概要

農業改良普及課は、農業総合試験場等と連携し、専門分野ごとに主要品目の生産技術等の課題を整理し、品種、技術等の調査研究を体系的に実施しています。

<広域調査研究について>

調査研究で取り上げる基本的な課題は、以下のいずれかを選択しています。

- 1 新技術の導入、技術課題の解決策に関すること
- 2 地域農業の振興、産地育成の方策に関すること
- 3 多様な経営体の育成、農業経営の改善策に関すること
- 4 農産物の活用に関すること
- 5 普及指導活動の方法に関すること
- 6 農村青少年に技術及び知識を習得させるためのプロジェクト学習に関すること
- 7 その他、普及指導又は農村青少年の研修教育に関すること

<令和7年度広域調査研究>

本年度は以下の6課題を設定し、農業者皆様の御協力を得て実施しています。

- 1 水稻品種「愛知135号」の普及拡大と耕起方法の検討
- 2 ICTを活用したイネカメムシ発生状況調査手法の簡易化及び発生状況の「見える化」の検証
- 3 緑色LED照射によるシンビジウムのヤガ類防除効果の実証
- 4 乳牛の繁殖成績に係る各種データの活用方法の検討
- 5 経営参画・社会参画に繋がる若手女性農業者育成のための支援策の明確化
- 6 集落ぐるみで実施する侵入状況調査の実証